

参考資料2

栃木県がん対策推進協議会がん登録部会委員

任期：H30.7.1～

No.	分野	委員	所属・役職	備考
1	病院	藤田 伸	(地独) 栃木県立がんセンター副病院長	部会長
2		大木 いずみ	(地独) 栃木県立がんセンターがん予防情報相談部長	
3		藤井 博文	自治医科大学附属病院臨床腫瘍部教授	
4		植木 敬介	獨協医科大学病院総合がん診療センター長	
5		柴山 千秋	栃木県済生会宇都宮病院放射線科診療科長	
6	関係団体	福田 晴美	(一社) 栃木県医師会常任理事	
7		長谷川 親太郎	栃木県病院協会会長	
8		阿部 聡子	栃木県集団検診実施機関連絡協議会	
9	個人情報	増子 孝徳	弁護士((公財)がんの子どもを守る会副理事長)	
10	公衆衛生	小橋 元	獨協医科大学副学長	

(敬称略)

全国がん登録制度について

がん登録等の推進に関する法律の制定（H25公布、H28施行）

○全国がん登録の届出が義務づけられる医療機関

⇒ 「病院」と知事が開設者の同意を得て指定する「診療所」

（県内では、106病院と6診療所が対象）

○全国がん登録の登録項目 ⇒ 以下の26項目の登録を義務づけ

番号	項目名	番号	項目名	番号	項目名
1	病院等の名称	10	病理診断	19	鏡視下治療の有無
2	診療録番号	11	診断施設	20	内視鏡的治療の有無
3	カナ氏名	12	治療施設	21	外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲
4	氏名	13	診断根拠	22	放射線療法の有無
5	性別	14	診断日	23	化学療法の有無
6	生年月日	15	発見経緯	24	内分泌療法の有無
7	診断時住所	16	進展度・治療前	25	その他の治療の有無
8	側性	17	進展度・術後病理学的	26	死亡日
9	原発部位	18	外科的治療の有無		

○全国がん登録情報の利用・提供

⇒ 行政機関、届出病院、研究者等は、要件を満たせば全国がん登録情報を利用することができる。

ただし、届出病院以外は、利用申出にあたり審議会の意見を聴かなければならない。



栃木県がん対策推進協議会がん登録部会の意見
聴取が必要

栃木県のがん罹患状況等について

～ 全国がん登録2016(平成28年)を踏まえて ～

栃木県の部位別がんの年齢調整罹患率と全国順位

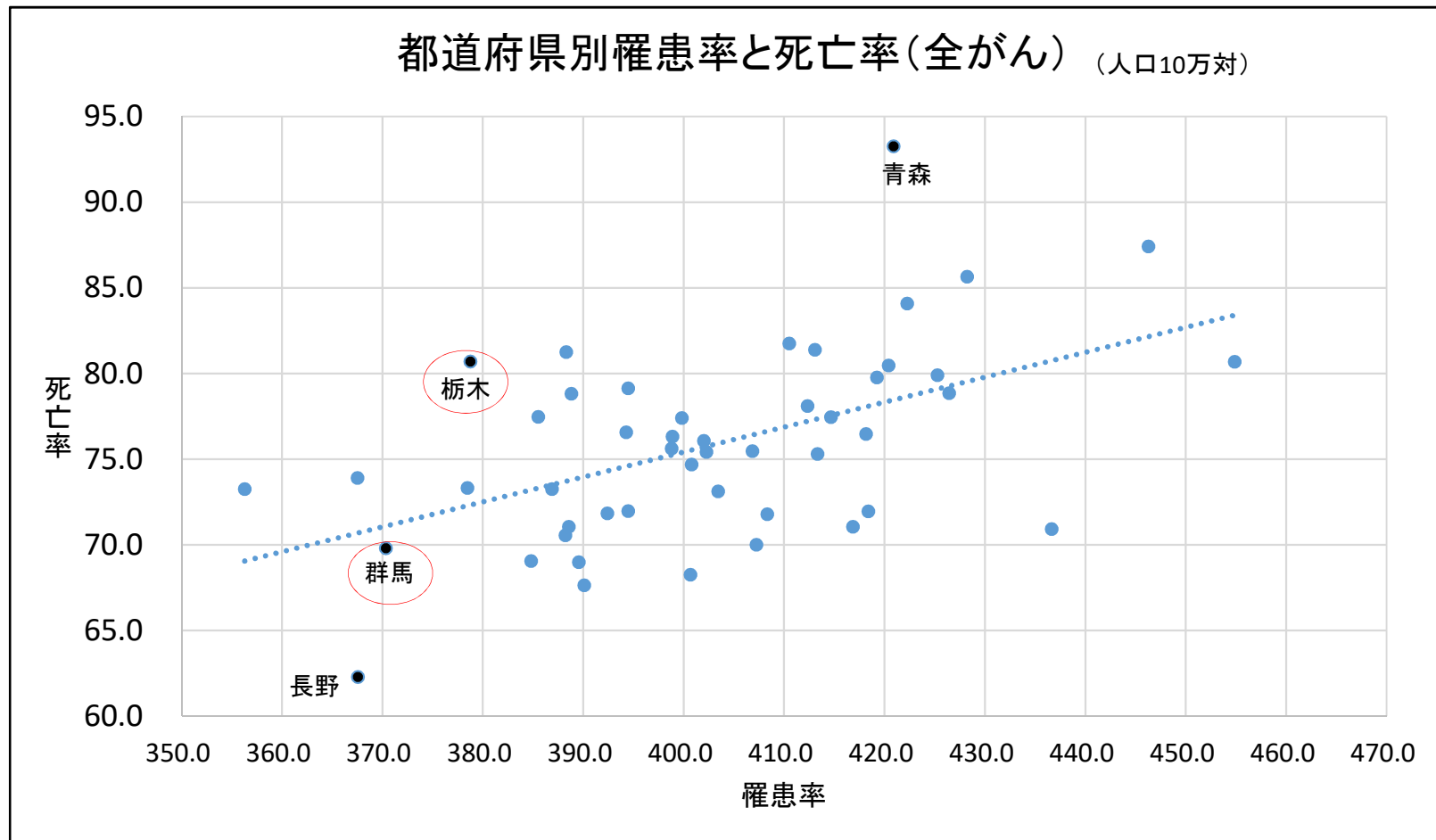
※順位は率が低い順

がん種	年齢調整罹患率 (人口10万対)	全国順位
全がん	378.8	6
胃がん	46.8	18
大腸がん	59.9	23
肺がん	40.5	8
肝がん	14.2	23
乳がん(女性)	99.0	21
子宮がん(女性)	36.0	38

⇒ 全がんでは低いが、がん種別に見ると中位が多く、子宮がんは高い。

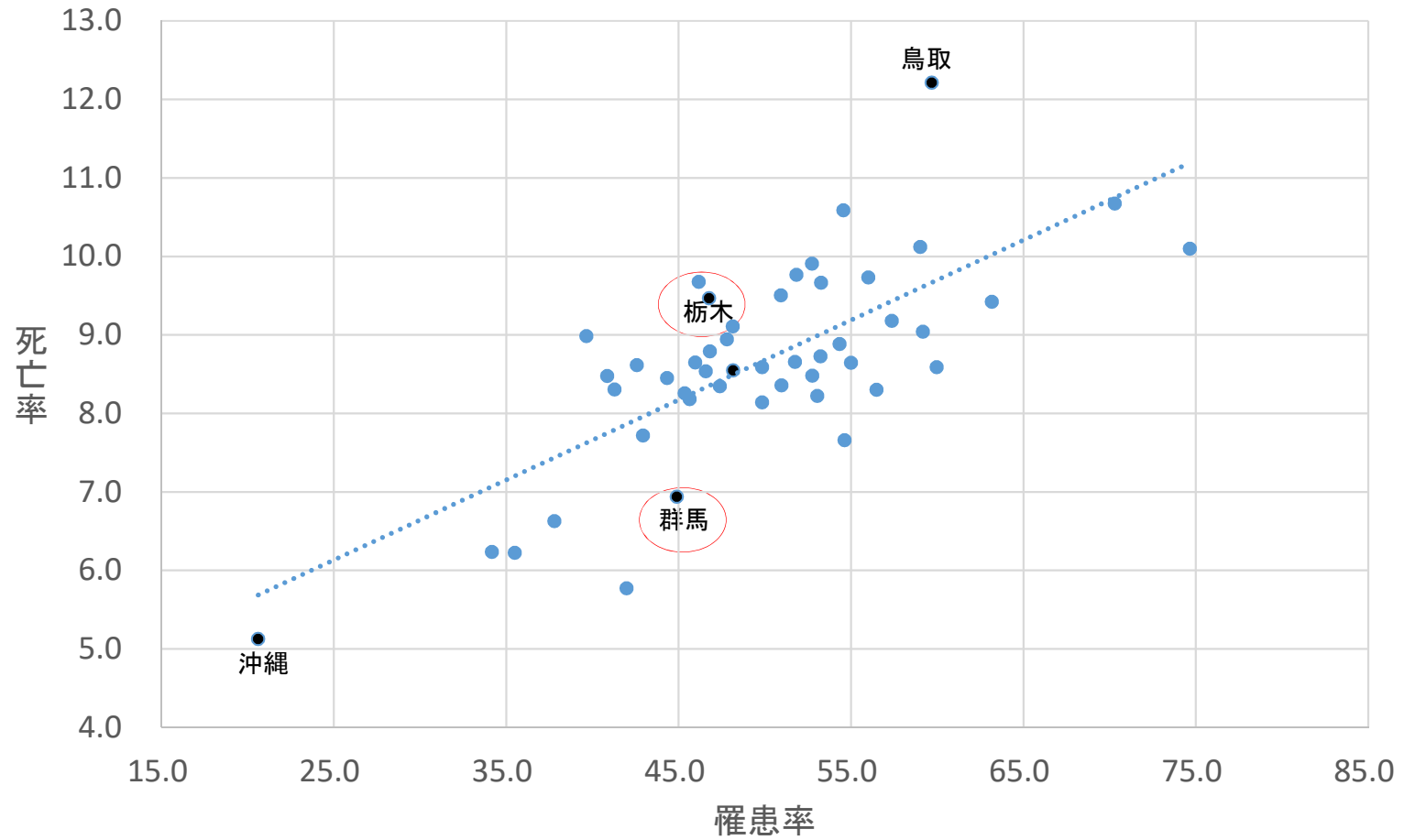
○がん罹患率とがん死亡率の分布

(がん登録2016(平成28)年症例×75歳未満年齢調整死亡率(平成28年))



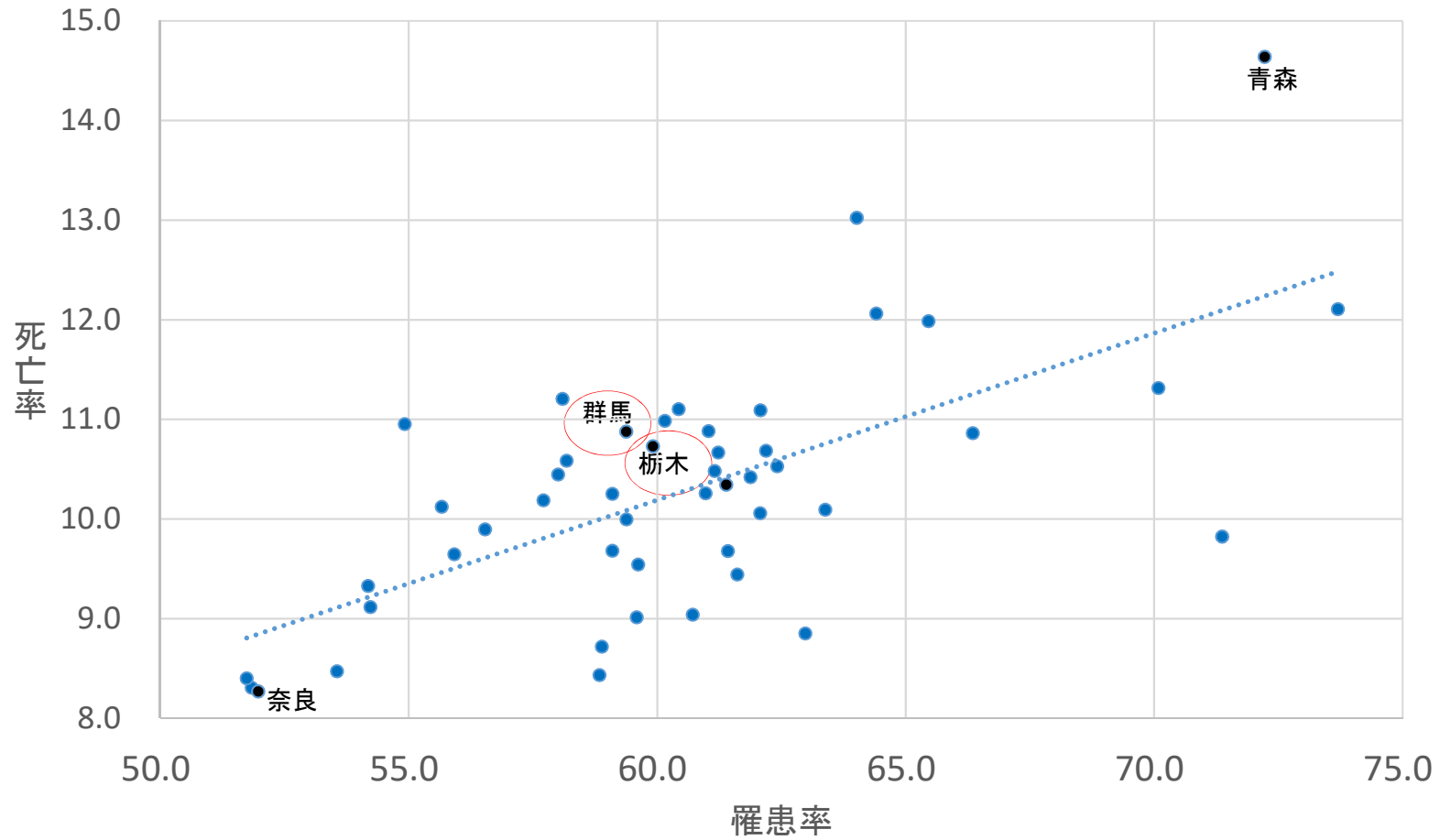
死亡率出典: 国立がん研究センター がん登録・統計
罹患率出典: 全国がん登録2016年診断症例

都道府県別罹患率と死亡率(胃がん) (人口10万対)



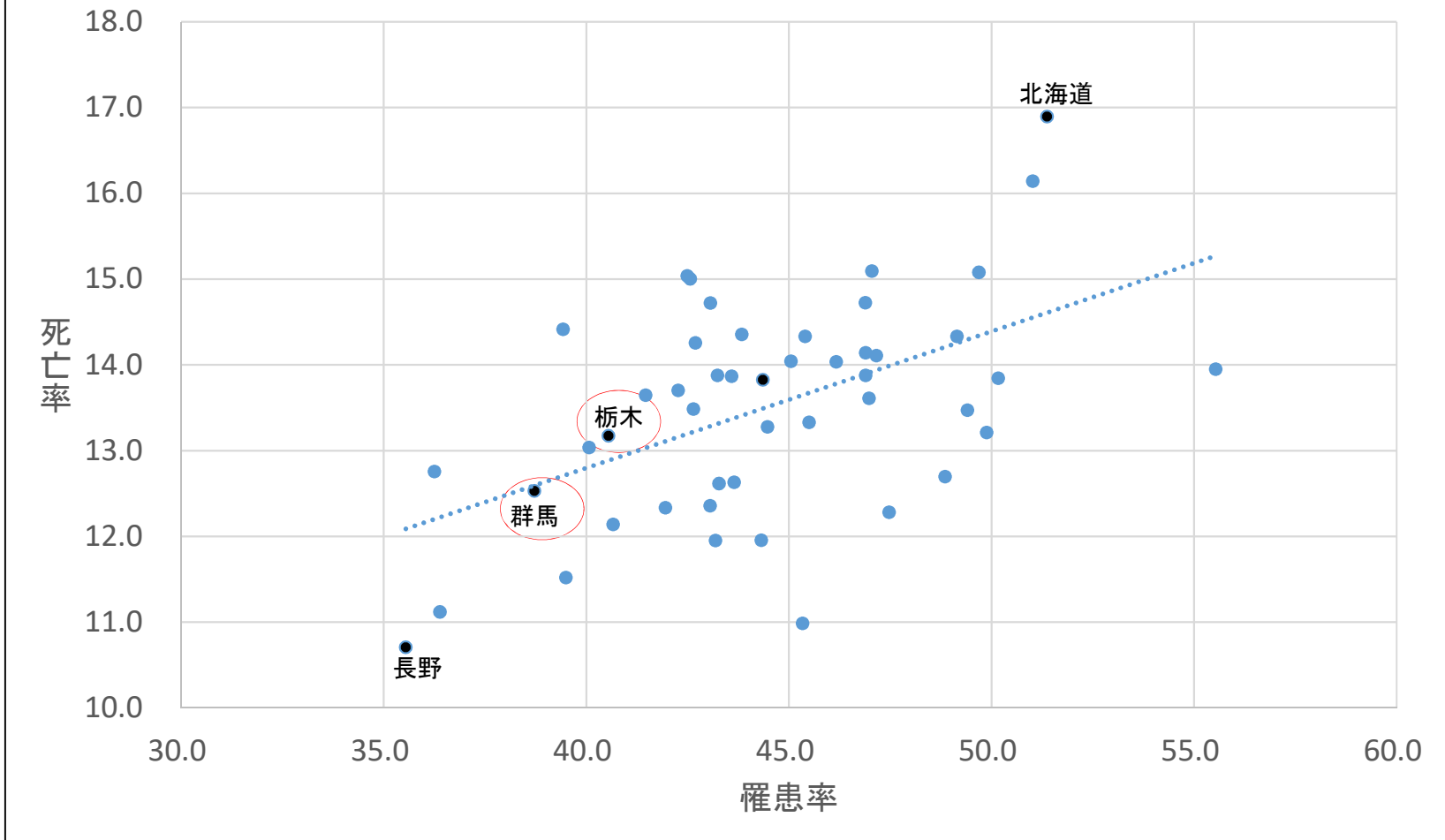
死亡率出典: 国立がん研究センター がん登録・統計
罹患率出典: 全国がん登録2016年診断症例

都道府県別罹患率と死亡率(大腸がん) (人口10万対)



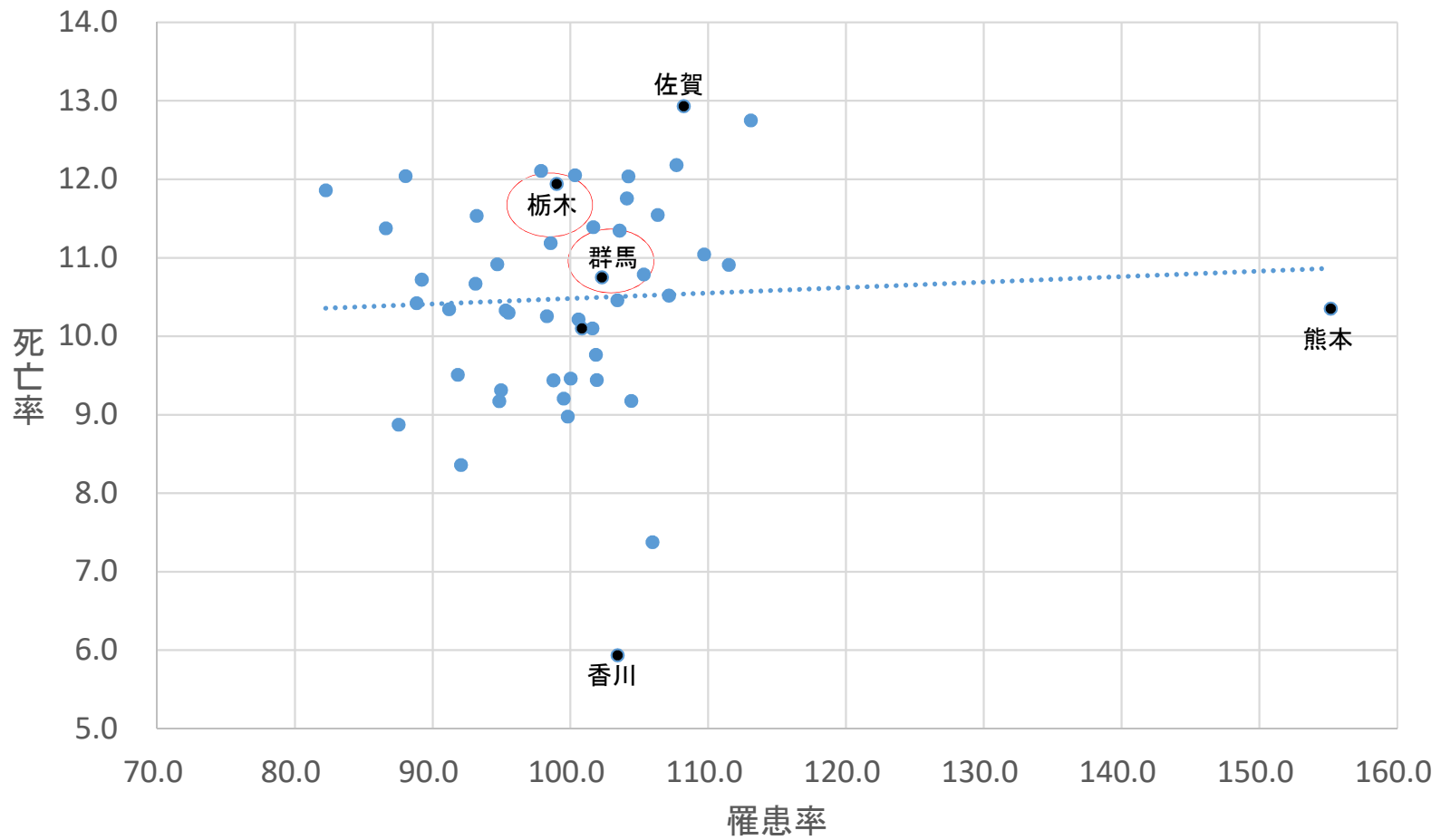
死亡率出典: 国立がん研究センター がん登録・統計
罹患率出典: 全国がん登録2016年診断症例

都道府県別罹患率と死亡率(肺がん) (人口10万対)



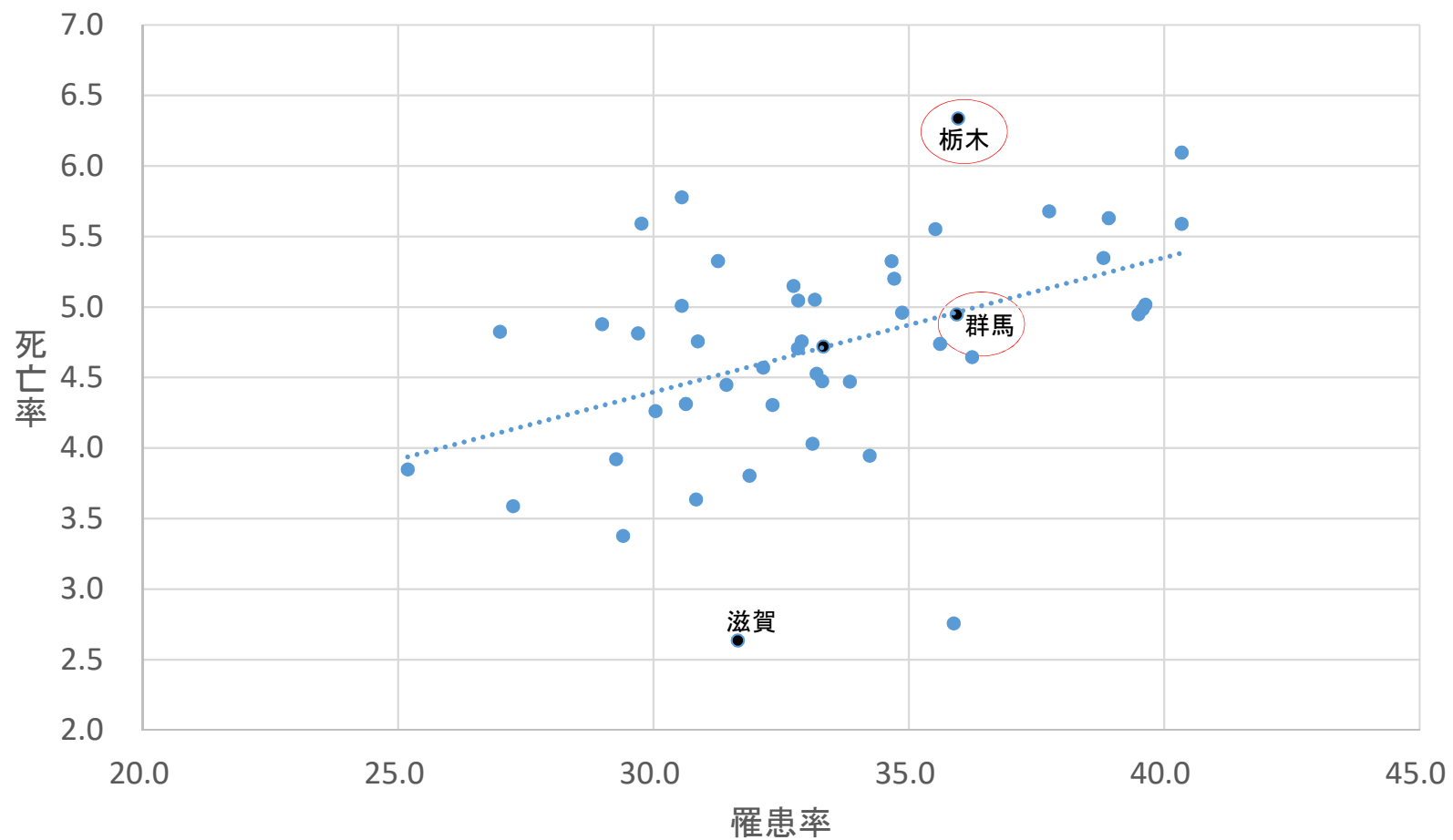
死亡率出典: 国立がん研究センター がん登録・統計
罹患率出典: 全国がん登録2016年診断症例

都道府県別罹患率と死亡率(乳がん) (人口10万対)



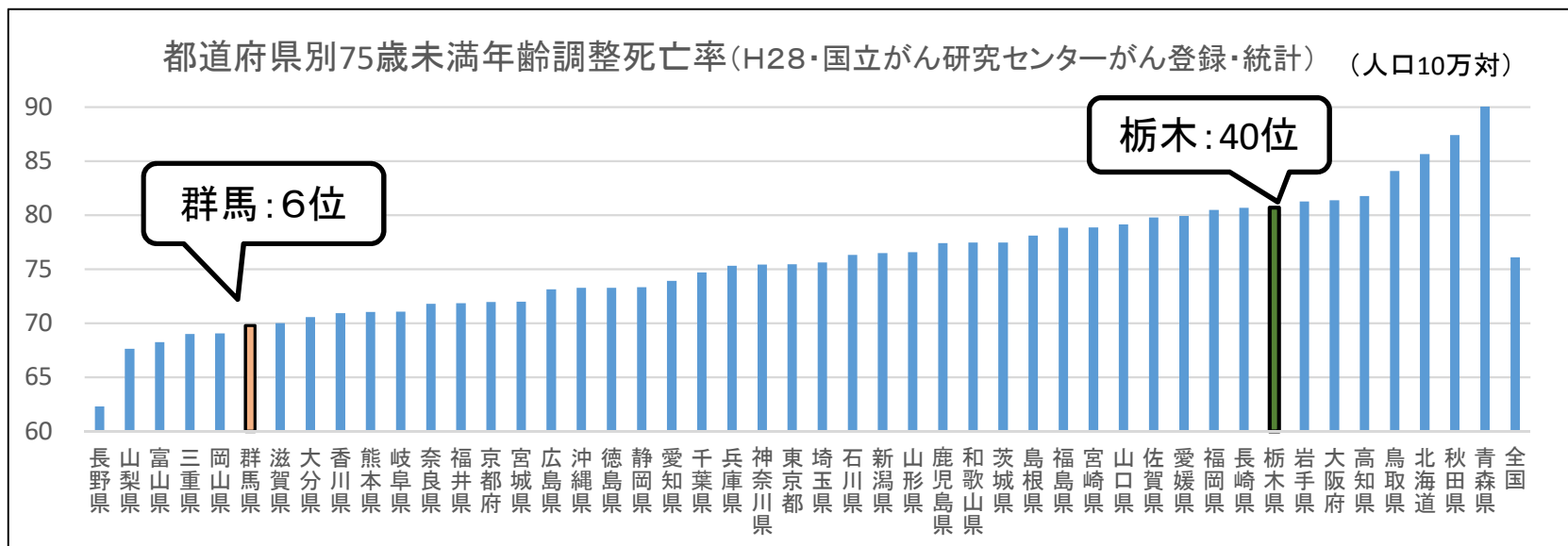
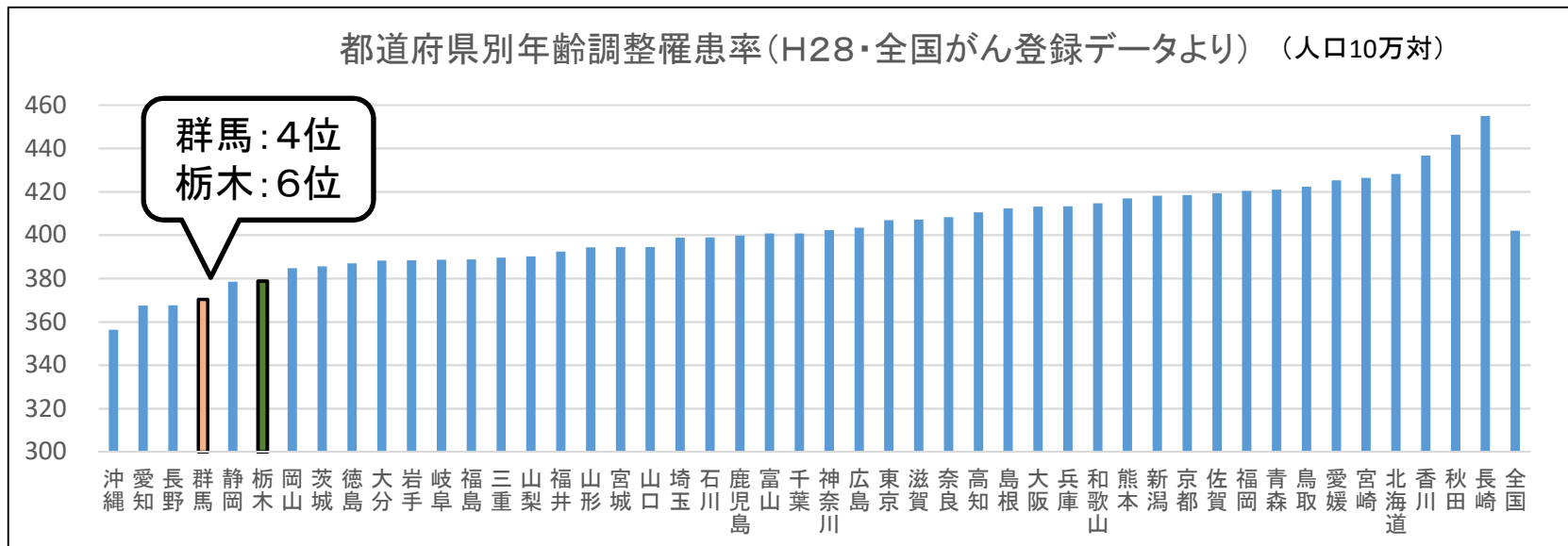
死亡率出典: 国立がん研究センター がん登録・統計
罹患率出典: 全国がん登録2016年診断症例

都道府県別罹患率と死亡率(子宮がん) (人口10万対)



死亡率出典: 国立がん研究センター がん登録・統計
罹患率出典: 全国がん登録2016年診断症例

罹患率はほとんど変わらない栃木県と群馬県だが、死亡率には大きな差がある。



がんの罹患・死亡には様々な要因が関係していると考えられる。

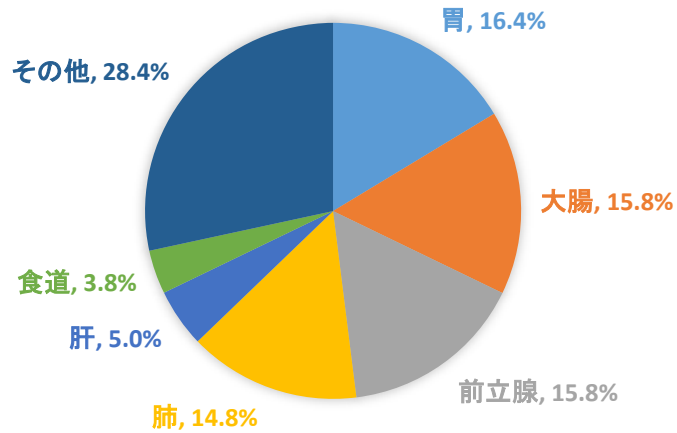


気候や生活習慣等が近いと考えられる

隣県の群馬県と関連データを比較

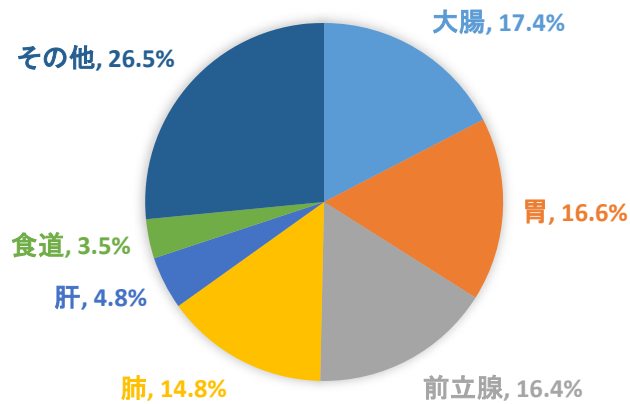
がん種別罹患率(男性)

全国

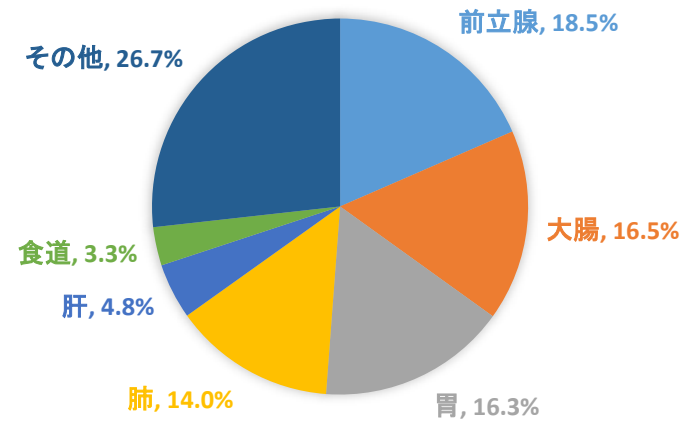


がん種別の比率はほぼ同様であるが、順位については、栃木県は大腸、胃、前立腺の順に多く、群馬県は前立腺、大腸、胃の順に多くなっている。

栃木県



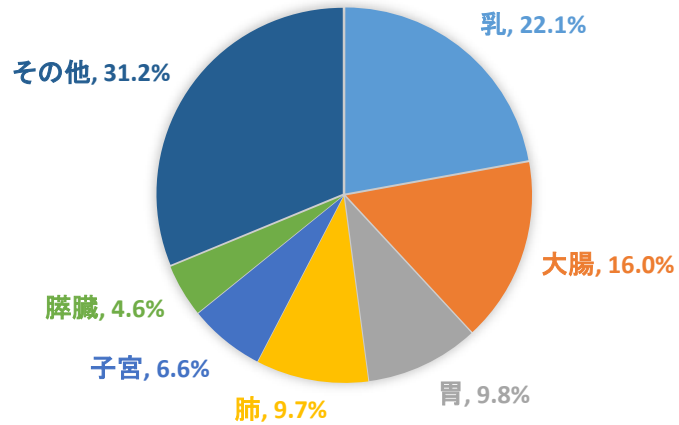
群馬県



出典: 全国がん登録2016年診断症例

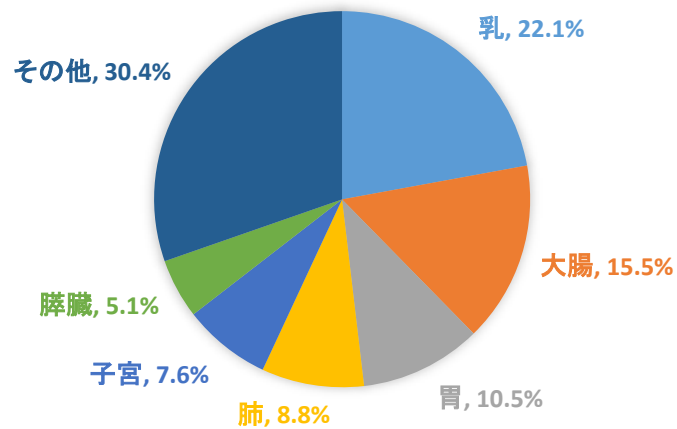
がん種別罹患率(女性)

全国

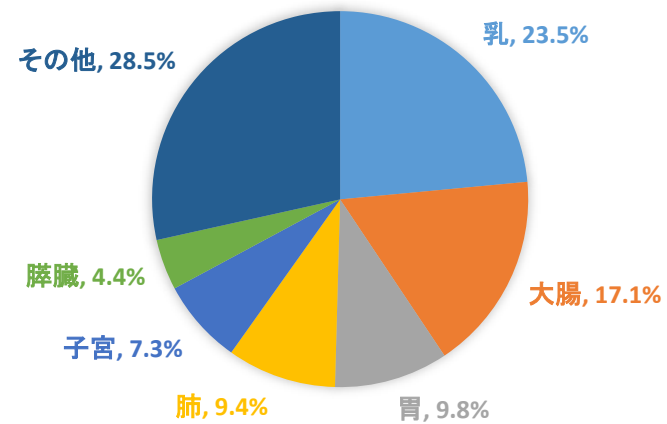


がん種別の比率はほぼ同様である。

栃木県

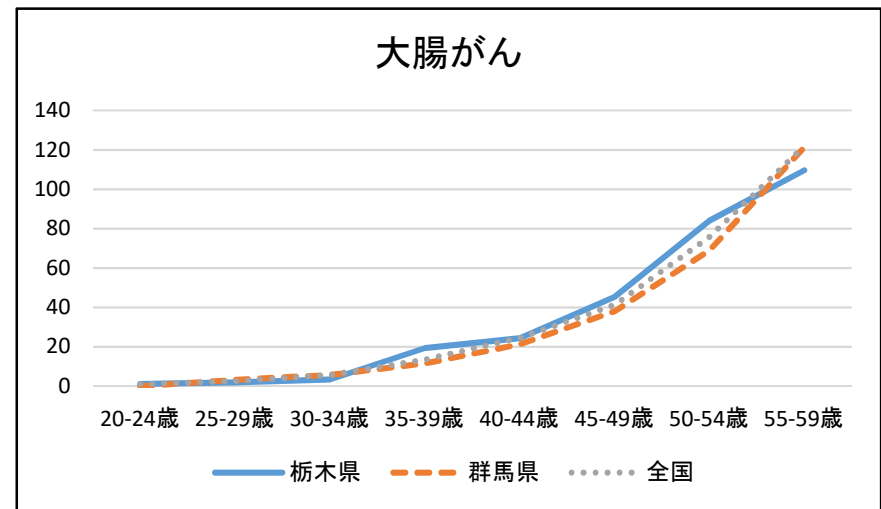
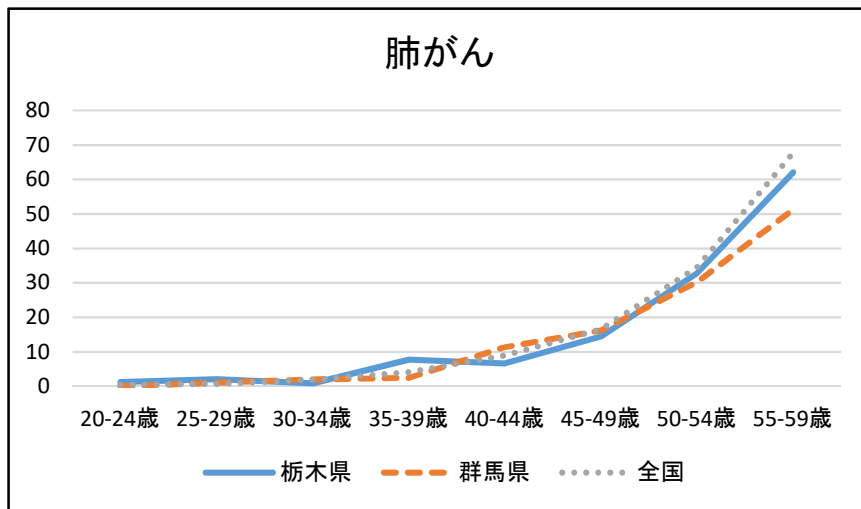
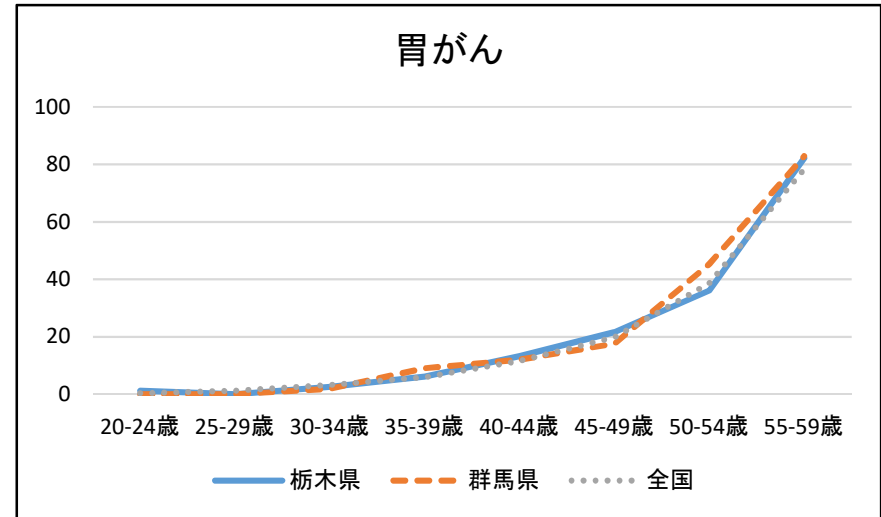
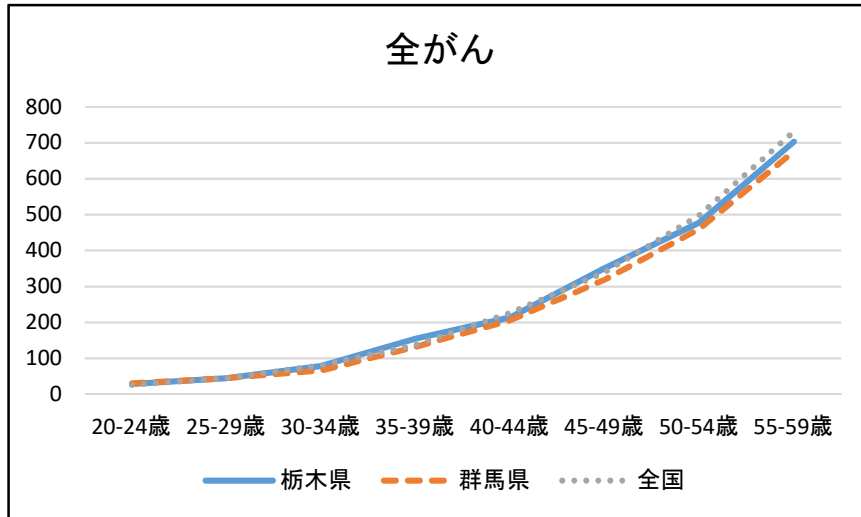


群馬県



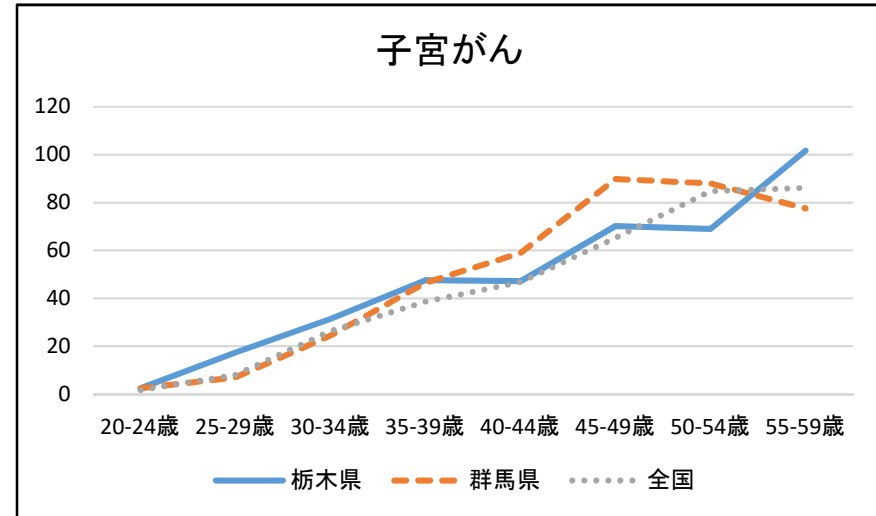
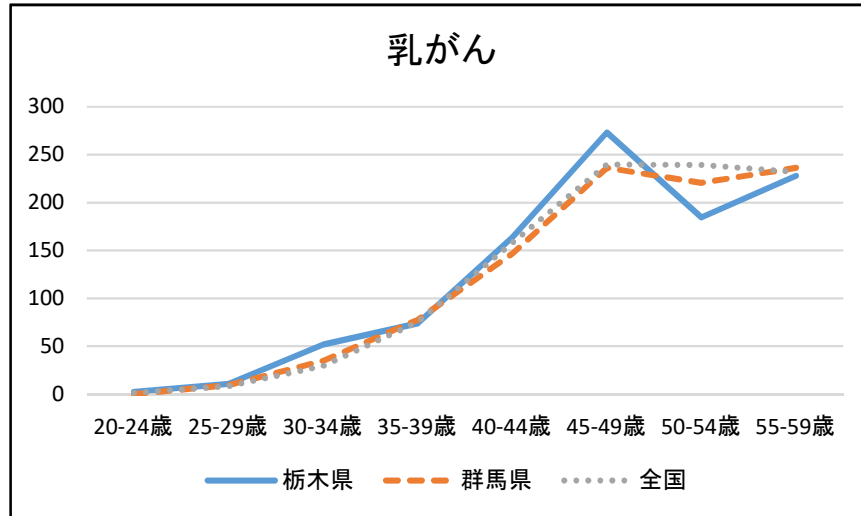
出典: 全国がん登録2016年診断症例

がん種別年齢階級別罹患率① (人口10万対)



出典: 全国がん登録2016年診断症例

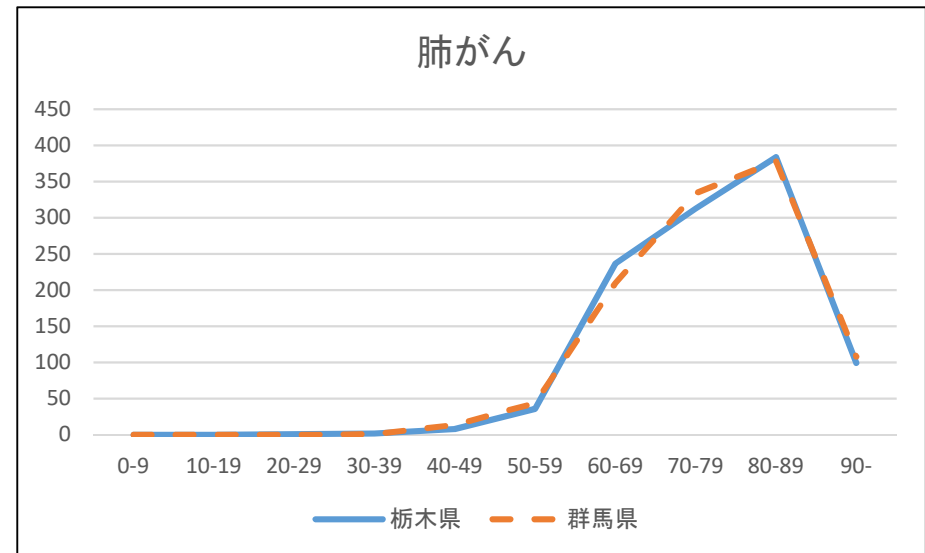
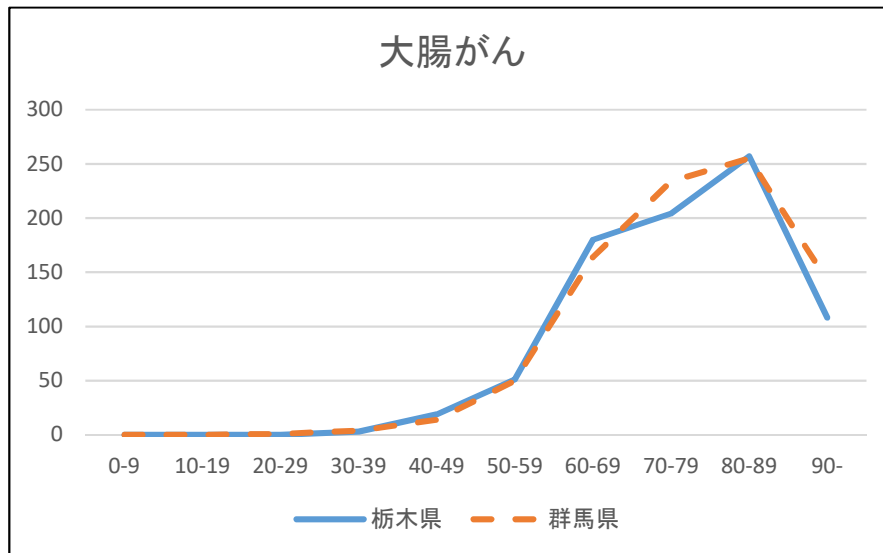
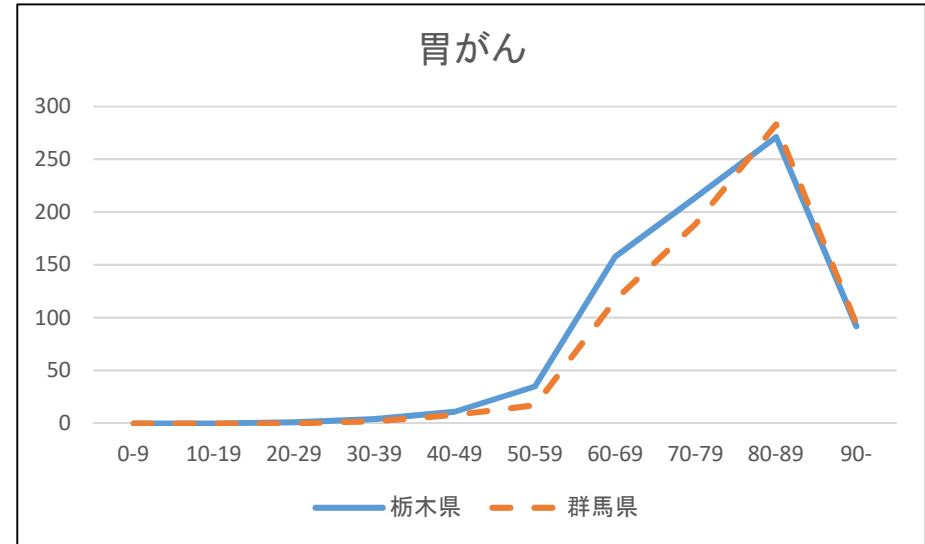
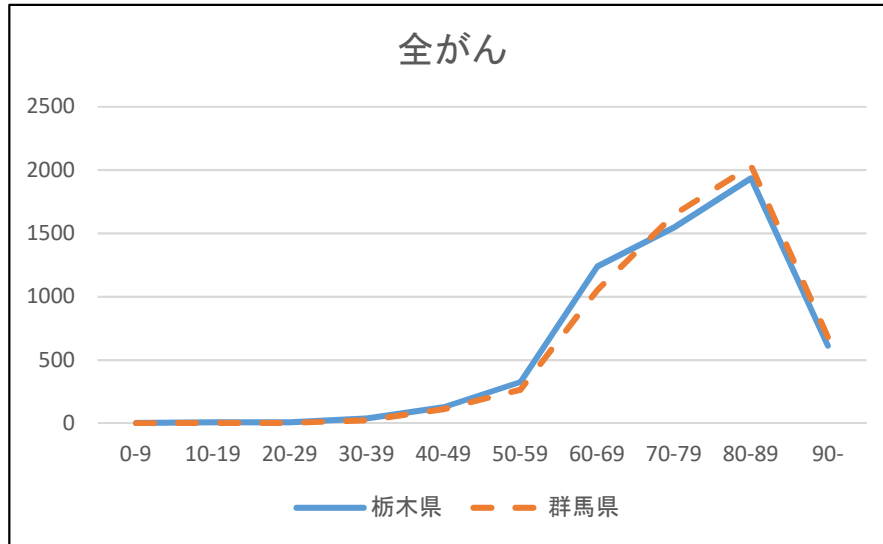
がん種別年齢階級別罹患率② (人口10万対)



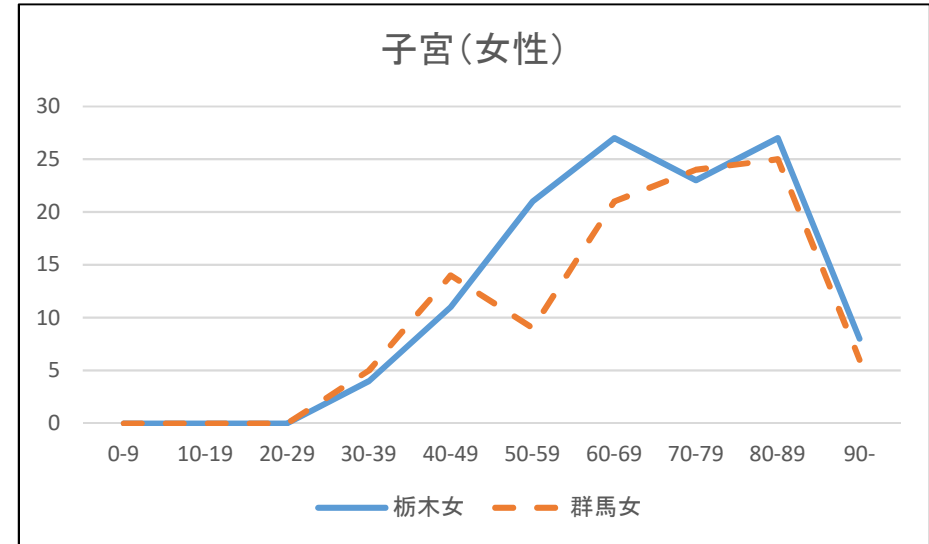
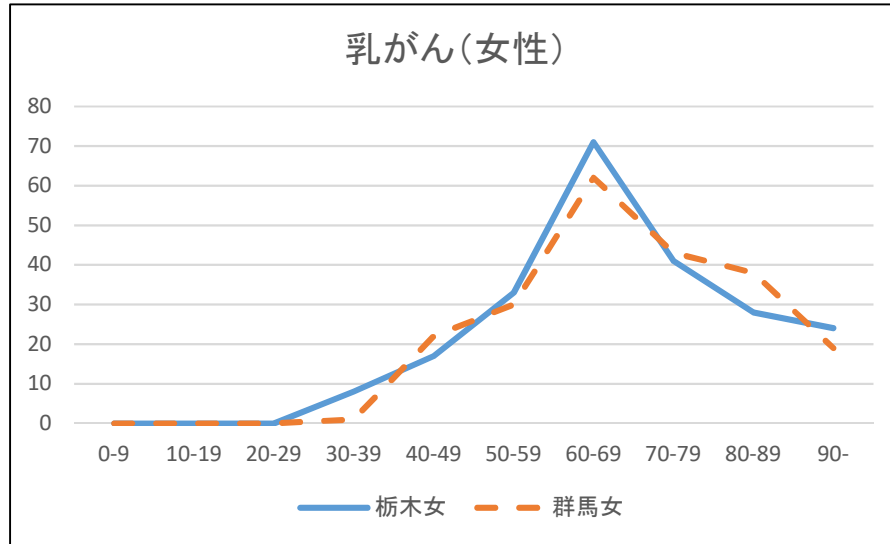
出典:全国がん登録2016年診断症例

栃木県は、ほぼすべてのがん種で20～30代の若い世代の罹患率が高い傾向がある。

がん種別年齢階級別死亡率① (人数)

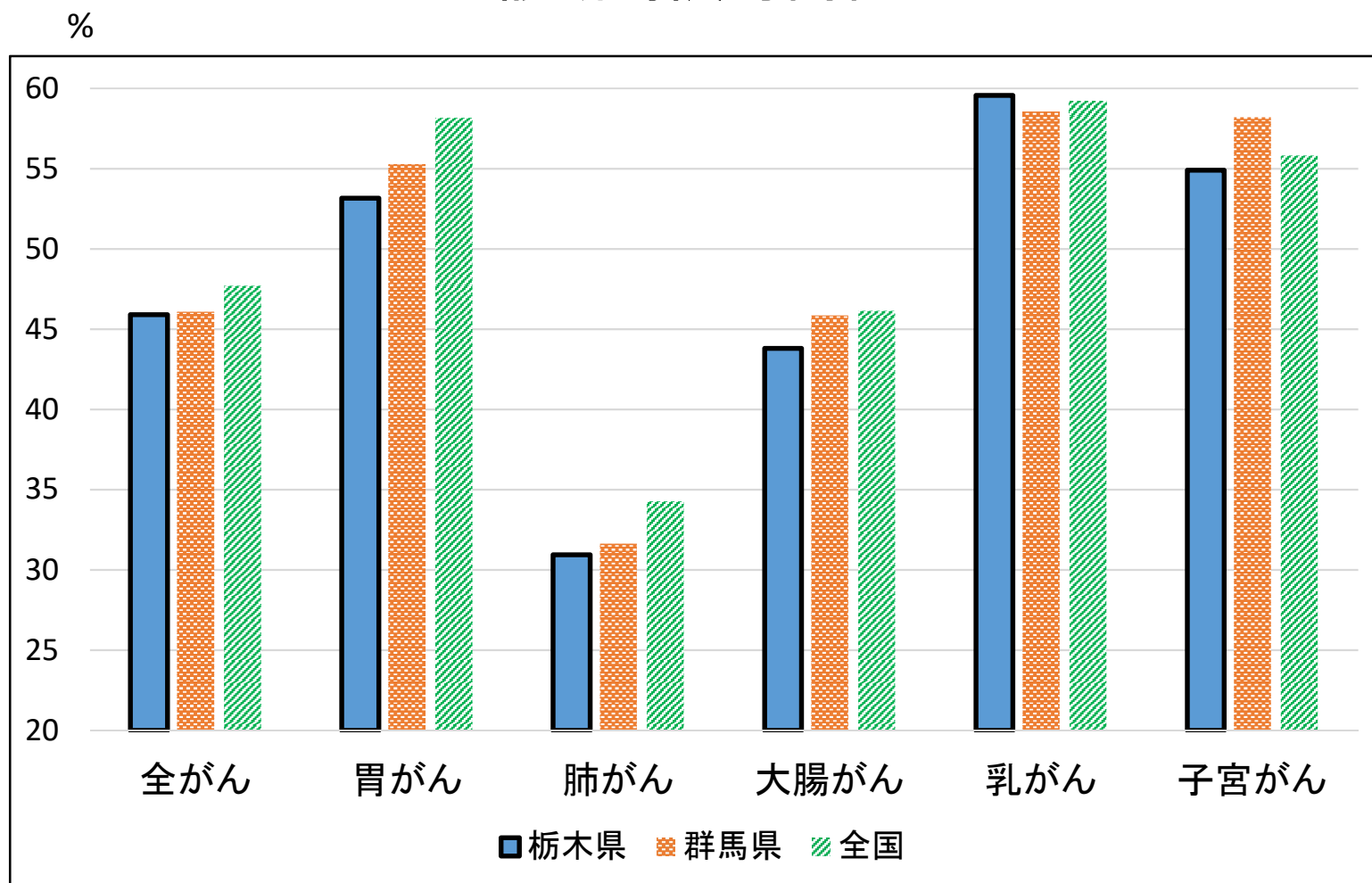


がん種別年齢階級別死亡率② (人数)



出典:平成28年人口動態統計

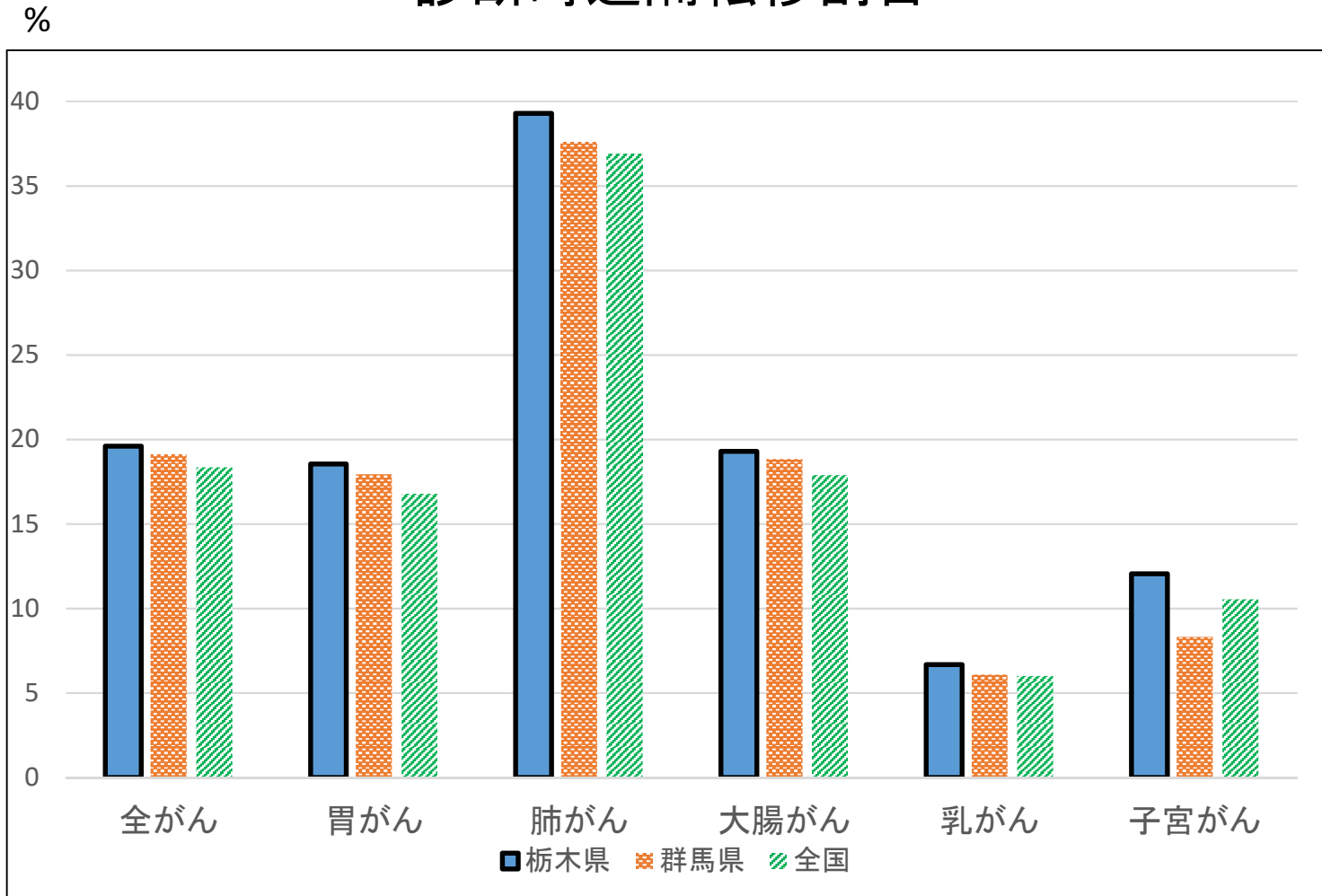
診断時限局割合



出典: 全国がん登録2016年診断症例

栃木県は群馬県、全国と比べ診断時限局割合が低い。

診断時遠隔転移割合

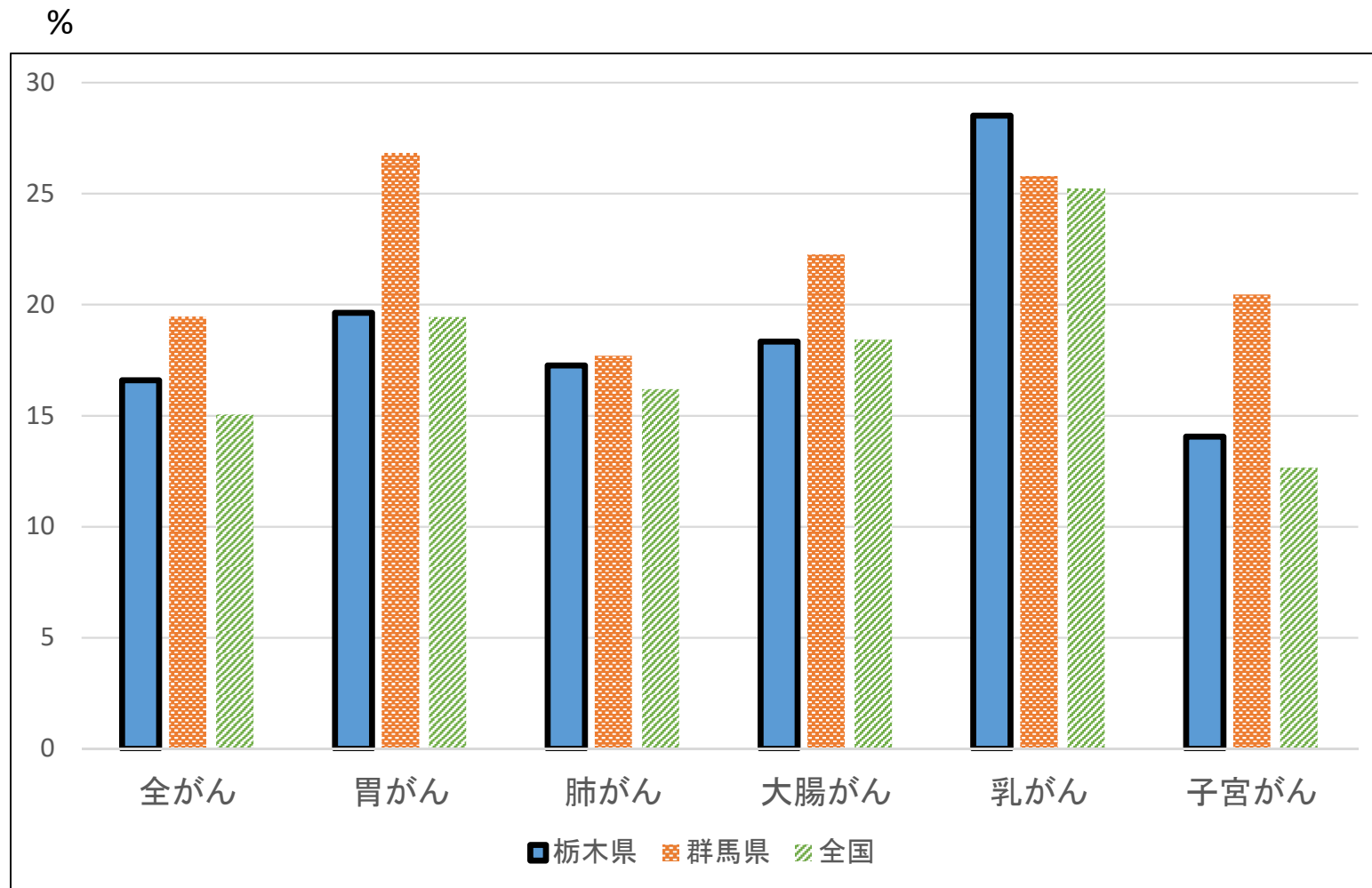


出典: 全国がん登録2016年診断症例

栃木県は群馬県、全国と比べ診断時遠隔転移割合が高い。

⇒ 栃木県では、診断・発見が遅れている可能性がある。

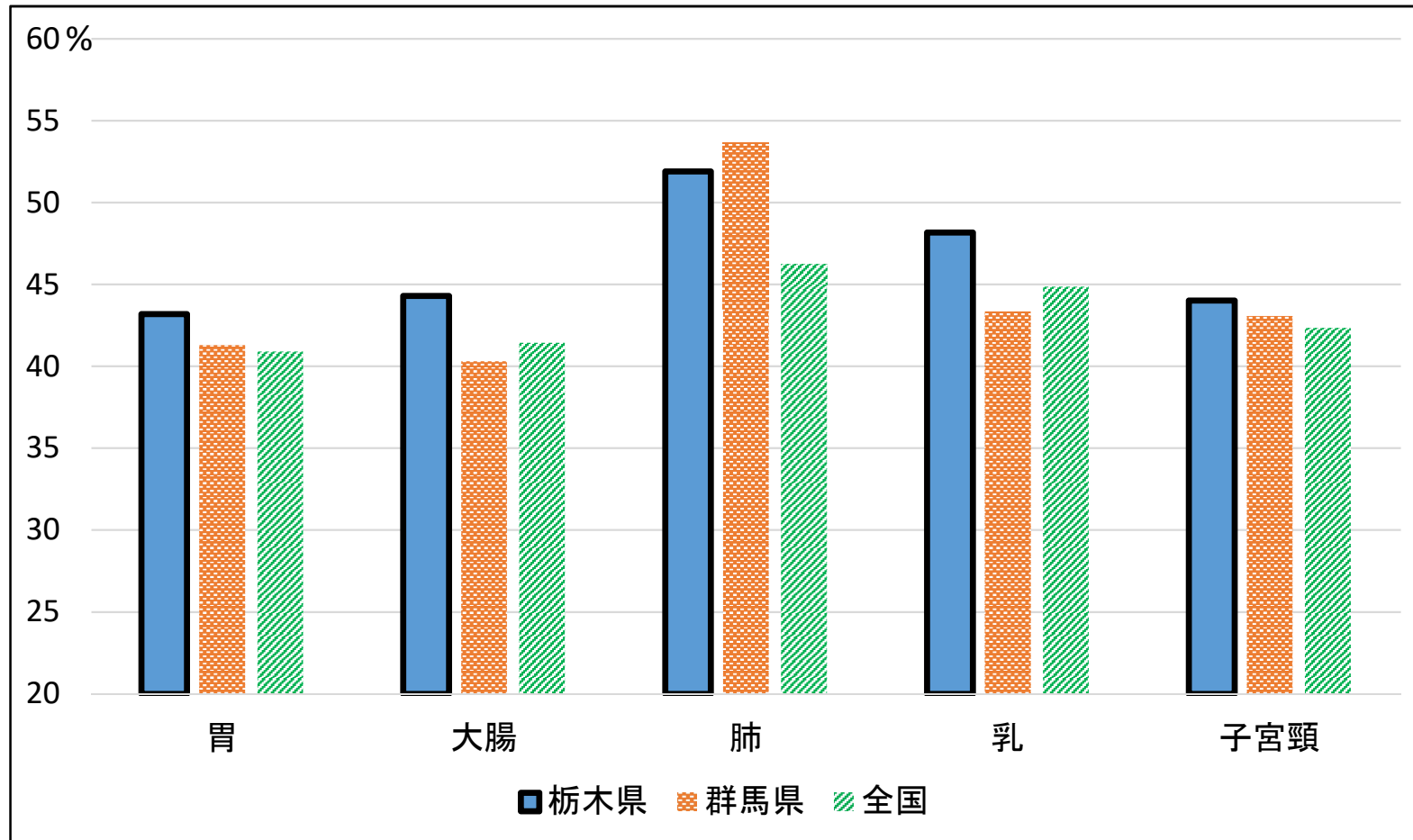
がん検診等による発見割合



出典：全国がん登録2016年診断症例

がん検診等によりがんが発見された割合は、乳がんを除き、
栃木県は群馬県より低い。

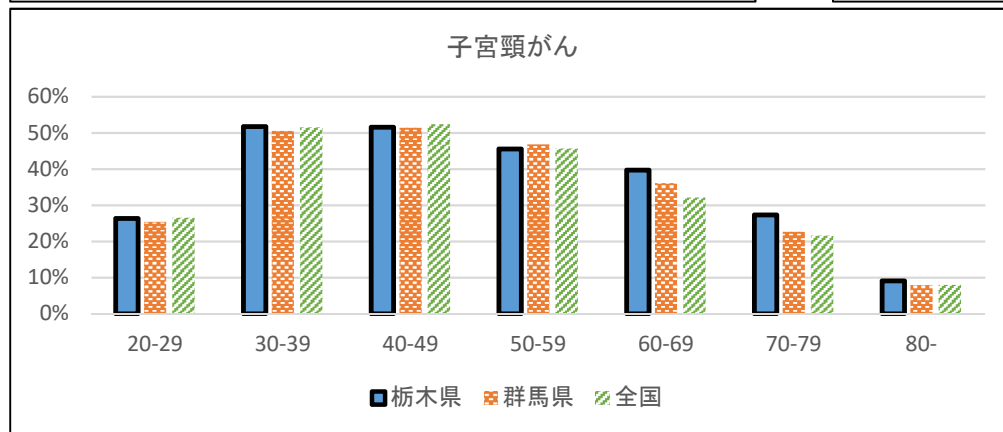
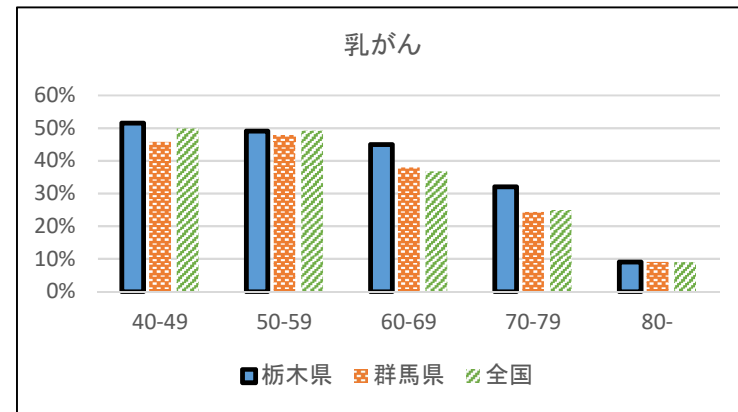
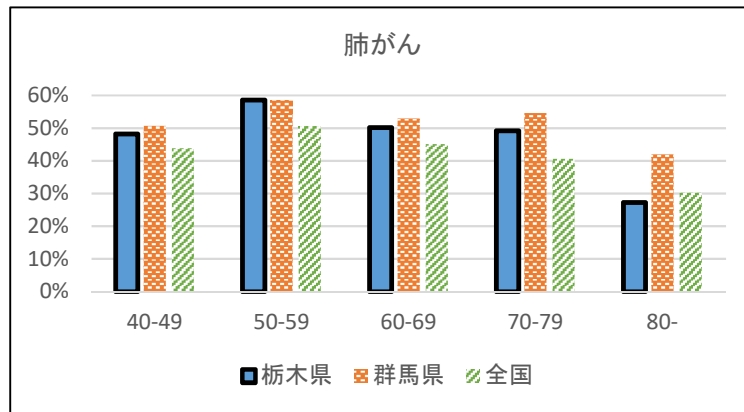
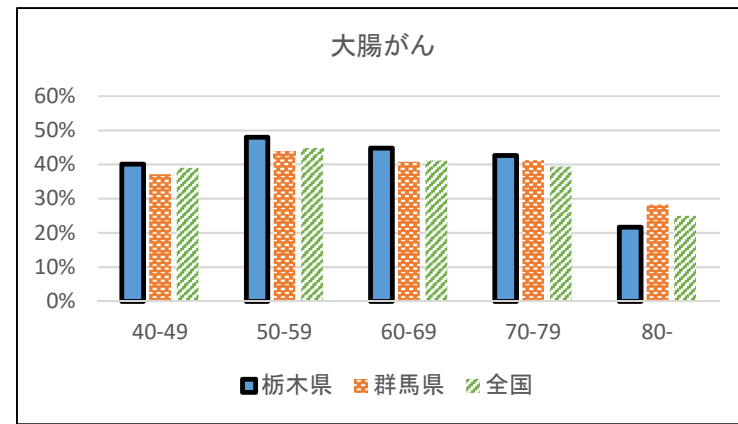
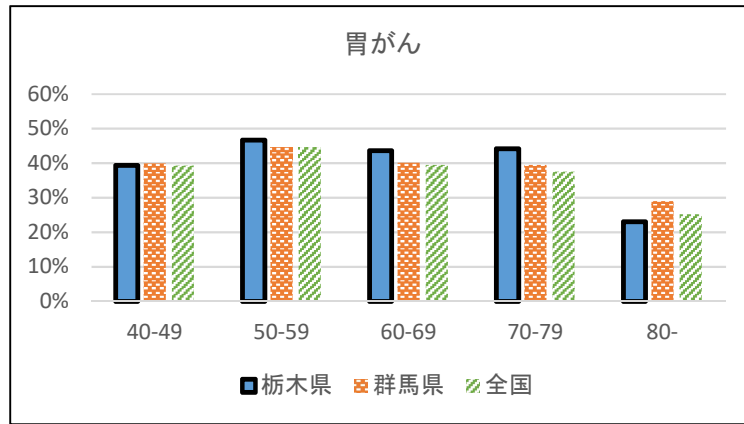
がん種別がん検診受診率



出典：平成28年国民生活基礎調査

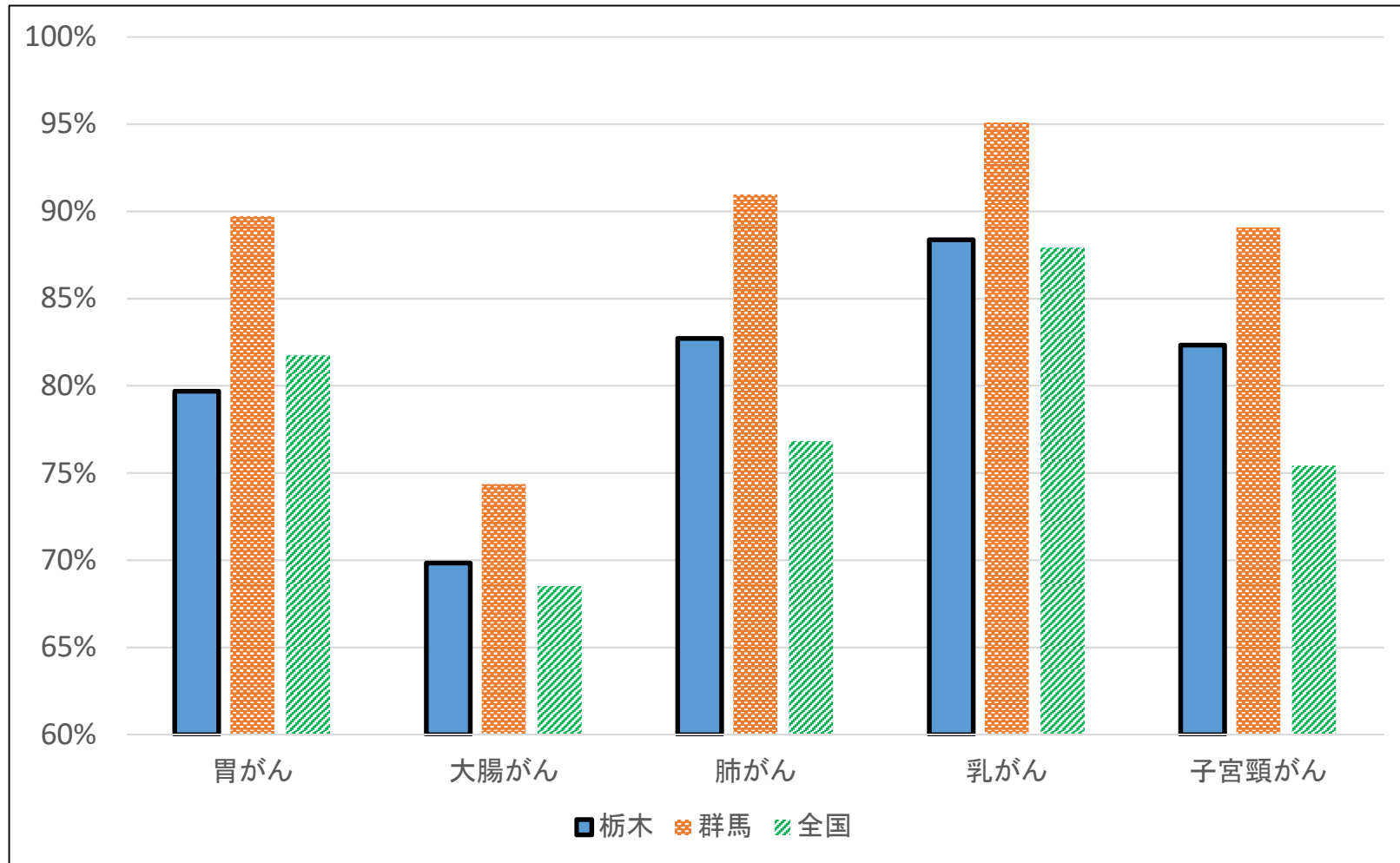
栃木県のがん検診受診率は、肺がん検診を除き、群馬県より高い。

がん種別年齢別がん検診受診率



出典:平成28年国民生活基礎調査

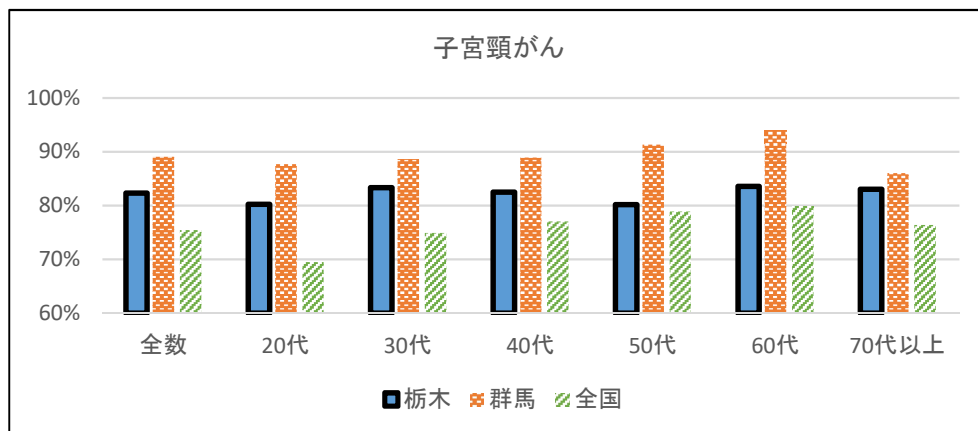
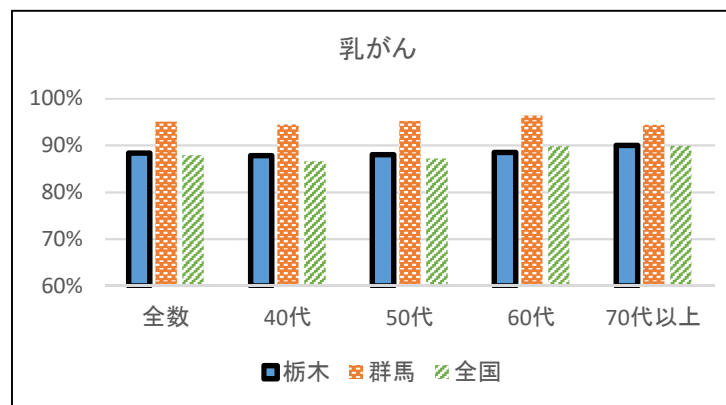
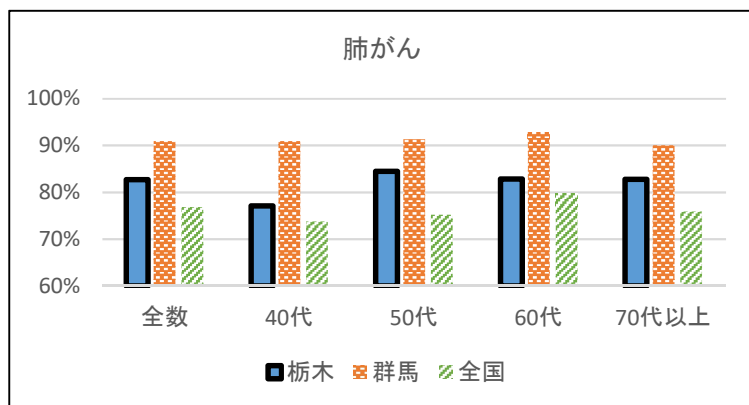
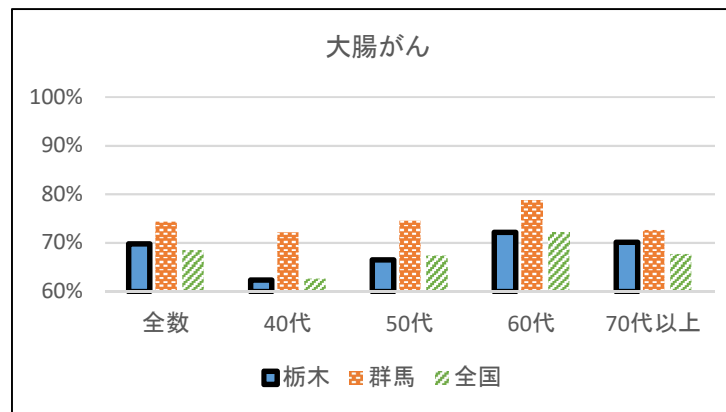
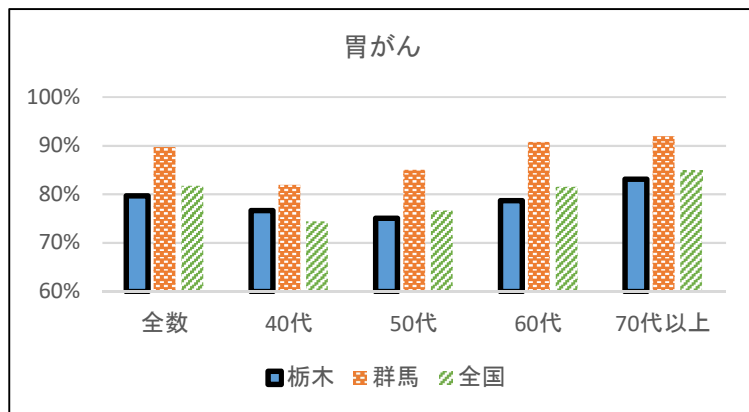
がん種別精密検査受診率



出典：平成29年度地域保健・健康増進事業報告

栃木県の精密検査受診率は、群馬県と比較すると5～10%低い。

がん種別年齢別精密検査受診率



出典:平成29年度地域保健・健康増進事業報告